

2022年2月

3 東病棟



「患者様の気持ちを大切にしたい！」

卒後2年目 氏名：蒲原夏樹

私は入職後してから2年間急性期内科病棟にて働いています。

ここでは、救急で運ばれてくる患者様が多く、緊迫した状況のなか看護をする日々が続いています

3 東病棟では、患者様に安全で安心な看護の提供を目標に掲げ、チームワークを大切にしています。普段から先輩方や上司とのコミュニケーションは多く仲良く楽しく働いています。命の境に関わることもあります。知識や技術が多く学べる事・命の大切さについて考える機会が多いのはこの病棟の特徴だと考えます。

働いていく中で私が最も意識しているのは「患者の気持ちになって考える」ということです。状態が悪く苦しんでいる患者様の言葉や辛さに耳を傾け、一番今困っているのはなにかを考えることだと思っています。より患者に寄り添い、苦痛を軽減させてあげる方法を患者様とともに考える事が大切ではないかと考えます。

それでも私は働いていく中で自分の看護がこれでいいのかと不安になることがあります。そんなとき患者様に言われた何気ない一言「あなたが来ると安心するわ」という言葉に私の看護はちゃんと届いているのだと自信をもらうことが出来ました。

今でもその言葉に励まされながら患者に寄り添うことを意識的に行動しています。

患者様の声をこれからも大切にしたいと思います。

